

患者さんパンフレット

四国がんセンター
消化器内科



nal-IRI+5-FU/l-LV
(オニバイド) 療法を受けられる方へ

さま

主治医

受け持ち看護師

2025年9月26日 作成
2026年6月15日 改訂

私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします

- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



nal-IRI+5-FU/l-LV療法のスケジュール

1コース（14日間）

治療日数	1	2	3	4	5	6	7	8~14	15日目以降
nal-IRI（オニバイド） 90分	●								●
l-LV（レボホリナート） 2時間	●								●
5-FU（持続注入） 46時間	● →								● →

*この他に、アレルギーを抑える薬や吐気止めの点滴、内服薬などがあります

- 抗がん剤を投与したときに、過敏反応が起こることがあります
過敏症状がでたら、早めに点滴を止めることが大切です
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪いときは
我慢をしないで、すぐに医療スタッフにお知らせください



治療前の歯科受診について

- ◆ 治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の
歯科診察を行っています
- ◆ 治療前の歯科受診では、以下を行います
 - レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - 歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - 適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆ 通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です
治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を
きれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりとりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まったままの状態は、腎臓や膀胱に負担がかかり炎症を起こすことがあります
尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接接触しても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・ **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - * 使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - * トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう
- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院期間は6日前後の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

11:00

入院

【入院後に以下のことを予定しています】
 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明
 (テレビの病院案内も参考にしてください)

12:00

昼食

- ・検温、血圧測定、身体測定
 - ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り
 - ・レントゲン(胸部・腹部)、心電図、血液検査、尿検査
 - ・歯科受診
 - ・医師より抗がん剤治療の説明があります
 - ・サインをした同意書は看護師にお渡しください
 - ・初回治療のときは、管理栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります
- 2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください

便秘・下痢、便の性状について説明します
 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
 「排便について」ページ参照

携帯用注入ポンプの取り扱いについて説明します
 「携帯用注入ポンプを使って治療を受けられる方へ」
 パンフレット参照

<お薬>

- ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします
 医師の指示を確認後、続けるか、中止するかをお伝えします

<食事>

- ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
- ・基礎疾患(糖尿病、高血圧等)がある方は、治療食になる場合があります

<時間>	<予定>
18:00	夕食
21:30	消灯

<睡眠>
眠れないときは安定剤を服用することができます



薬剤師から治療の流れや副作用の説明があります
注意点について詳しく記載された冊子をお渡しします
治療が開始したら、毎日治療日誌を記入しましょう

医療スタッフの目標

- 入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないように支援します



MEMO


気になることや症状など書き留めておきましょう

抗がん剤投与当日 月 日



今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 携帯用注入ポンプの取り扱いについて理解できる
- 吐き気や嘔吐がない
- 下痢が1日4回以上ない

<時間>	<予定>
6:00	起床 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">水分をしっかりととりましょう 治療日誌を記入しましょう</div>
7:30	朝食 洗面、歯磨き 検温、血圧測定
10:00	午前中にシャワー浴をしましょう <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">過敏症、点滴部位の痛み・血管痛、吐き気・嘔吐について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照</div>
12:00	昼食 歯磨き 点滴前にトイレに行きましょう 点滴を始めます 抗がん剤の点滴開始時、開始後15分、抗がん剤終了時に体温、血圧、酸素飽和度を測定します <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;">携帯用注入ポンプの取り扱いについて説明します 「携帯用注入ポンプを使って治療を受けられる方へ」パンフレット参照</div>
18:00	夕食 歯磨き <div style="border: 1px solid magenta; border-radius: 15px; padding: 5px;">• 吐き気の強いときは追加でお薬を使うことができます • 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます • 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう</div>
19:00	検温、血圧測定
21:00	抗がん剤（5-FU）の残量確認 <div style="text-align: right;"><div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">フタをして水を 2回流しましょう</div></div>
21:30	消灯

点滴スケジュール

午後～ 点滴を始めます

1本目	中心静脈カテーテルポートから生理食塩水を注入します
2本目	吐き気止めの点滴を約15分で行います
3本目	抗がん剤（オニバイト）が入った点滴を約90分で行います
4本目	生理食塩水の点滴を5～10分で行います
5本目	レボホリナートが入った点滴を約2時間で行います
6本目	抗がん剤（5-FU）が入った点滴を約46時間で行います

- 点滴中は、副作用を早期発見するために付き添ったり頻回に訪室します
- 息が苦しい、体がかゆい、皮膚が赤くなる、急激な腹痛や下痢、発汗など、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください
- 針の入っているところや腕、肩、背中などが赤くなった、腫れている、痛みがあるときは、すぐにお知らせください
- 点滴のもれを防ぐために看護師が身の回りのことをお手伝いします
- 点滴中はトイレなどの歩行時に注意しましょう
- 点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は支えにしないようにしましょう

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



抗がん剤投与2日目 月 日



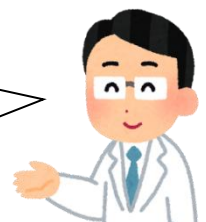
今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 携帯用注入ポンプの取り扱いについて理解できる
- 吐き気や嘔吐がない
- 下痢が1日4回以上ない

<時間>	<予定>	
6:00	起床	水分をしっかりととりましょう 治療日誌を記入しましょう
7:00	抗がん剤の残量確認	
7:30	朝食 洗面、歯磨き 検温、血圧測定	• 針の入っているところや腕、肩、背中などが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
10:00	検温、血圧測定	味覚障害・食欲不振について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
12:00	昼食 歯磨き	• 食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます • 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう
14:00	検温、血圧測定 抗がん剤の残量確認 体調に合わせて体を拭きます	【次回外来で治療予定の方】 • 針の抜き方について説明します • デモ機を使って練習します 「携帯用注入ポンプを使って治療を受けられる方へ」パンフレット参照
18:00	夕食 歯磨き	
19:00	検温、血圧測定 抗がん剤の残量確認	フタをして水を2回流しましょう
21:30	消灯	

医療スタッフの目標

- 副作用症状を早期発見し、症状緩和に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



抗がん剤投与3日目 月 日



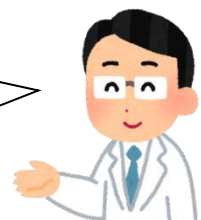
今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- 看護師と一緒に針を抜くことができる
- 吐き気や嘔吐がない
- 下痢が1日4回以上ない

<時間>	<予定>	
6:00	起床	水分をしっかりととりましょう 治療日誌を記入しましょう
7:00	抗がん剤の残量確認	
7:30	朝食 洗面、歯磨き 検温、血圧測定	針の入っているところや腕、肩、背中などが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
10:00	検温、血圧測定	口内炎について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
12:00	昼食 歯磨き	食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます 口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう
14:00	検温、血圧測定	点滴終了後、針を抜きます
		【次回外来で治療予定の方】 • 実際に看護師と一緒に針を抜きましょう 「携帯用注入ポンプを使って治療を受けられる方へ」パンフレット参照
		針を抜いて2時間以上経過していれば、シャワー浴が行えます
18:00	夕食 歯磨き	
19:00	検温、血圧測定	フタをして水を2回流しましょう
21:30	消灯	

医療スタッフの目標

- 副作用症状を早期発見し、症状緩和に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる
- ・吐き気や嘔吐がない
- ・下痢が1日4回以上ない
- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>	<予定>	
6:00	起床	水分をしっかりととりましょう 治療日誌を記入しましょう
7:30	朝食 洗面、歯磨き	
10:00	検温、血圧測定	骨髄毒性・脱毛について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照 「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」パンフレット参照
12:00	昼食 歯磨き	・食欲がなければ食べやすい食事へ変更できます ・口の中をきれいに保ち、口内炎や感染を予防しましょう
14:00	検温、血圧測定	
	シャワー浴をしましょう	
	【次回外来で治療予定の方】	
	・退院までに通院治療室の見学に行きます 「外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ」ページ参照	
18:00	夕食 歯磨き	退院日が決定したら、看護師より 退院後の日常生活について説明があります
21:30	消灯	



医療スタッフの目標

- ・副作用症状を早期発見し、症状緩和に努めます
- ・退院の準備をすすめられるように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

水分をしっかりととりましょう
治療日誌を記入しましょう

7:30

朝食

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

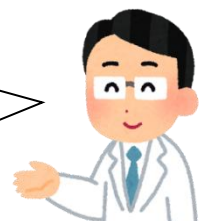
退院
退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



排便について

普段からご自身の便の性状を確認し、入院中に排便調整の目安や方法を医療スタッフと一緒に確認しておきましょう

治療の影響で、下痢しやすくなります

排便回数が4回以上増えたとき、6（泥状便）～7（水様便）の排便が続くとき、周期的に腹痛があるときはすぐに医療スタッフに伝えましょう

3日以上排便がない、いきまないと便が出ない、便は毎日出ているがすっきり感がなく腹部膨満感などの症状があるときは、排便の回数や性状によって緩下剤を使用します

※排便の状況や下痢・便秘の辛さは患者さんによって違います

※排便のコントロールが難しい患者さんは看護師と解決方法を相談しましょう

便の性状について（プリストルスケール）

プリストルスケールは、便のタイプ（硬さ）を7種類に分類した世界共通の尺度です。自分の便のタイプを知り、排便調整の参考にしましょう

1	コロコロ便		硬くてコロコロの 兔糞状の便
2	硬い便		ソーセージ状であるが 硬い便
3	やや硬い便		表面にひび割れのある ソーセージ状の便
4	普通便		表面がなめらかで柔らかい ソーセージ状、あるいは 蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便		はっきりとしたしわのある 柔らかい半分固形の便
6	泥状便		境界がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の 小片便 泥状の便
7	水様便		水様で、固形物を含まない 液体状の便



ウィッグ 帽子 ヘア用品 ネックカバーなど



ウィッグ以外にも
お役立ち製品が色々♪



メイク ネイル用品

治療によって脱毛・肌や爪のトラブルが起こる可能性がある方に、上記展示品の案内や試着を行っています

お住まいの自治体によっては、治療に伴うウィッグに関する助成制度を設けています
詳しくは、本館2階『がん相談支援センター』でご相談ください

※暖だんでの販売は行っておりません

気になる製品については購入方法をお伝えしています

退院後の日常生活について

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう

食事ごとに吐いてしまうようなときは、

1～2食、食事は控えてみましょう

この場合も水分はできるだけとりましょう

治療中は、**グレープフルーツジュースやセントジョーズワート**

(和名：セイヨウオトギリソウ)を含む食品やサプリメントなどは控えましょう



●排泄

毎日排便があるようにしましょう

規則的な排便習慣を身につけるため、朝食後トイレに行く習慣をつけましょう

軽い運動をしたり、こまめに水分をとるようにしましょう

便秘気味の方は、緩下剤を服用しましょう

下痢のときはしっかり水分補給をしましょう

水分を控えると脱水症状を起こすことがあります

退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

*退院後、便秘が続き排ガスがない、下痢や吐き気、腹痛がある場合はかかりつけ医、または四国がんセンターを受診しましょう

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう

活動の内容や範囲に制限はありません

白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう

外出時はマスクを着用して、帰宅時に手洗い、うがいをしましょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください



●お薬

発熱や吐き気、下痢に対して薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください

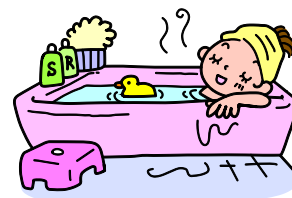
発熱した場合は、服用前にがん相談支援センターに連絡してください

服用しても症状が改善されない場合もがん相談支援センターにご連絡ください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



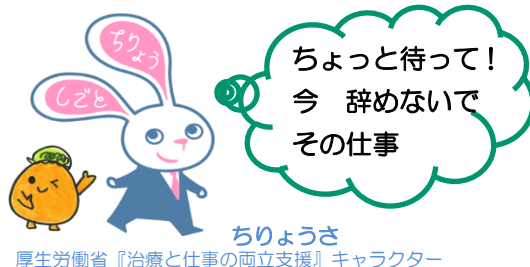
●入浴

外来治療後、抗がん剤を投与中は入浴を避けましょう
下半身のみシャワー浴を行ってもかまいません
抗がん剤の投与が終了し、針を抜いた後、
2時間以上たってから入浴しましょう



●仕事

重労働はしばらく避けましょう
これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります
病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています
ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●治療日誌

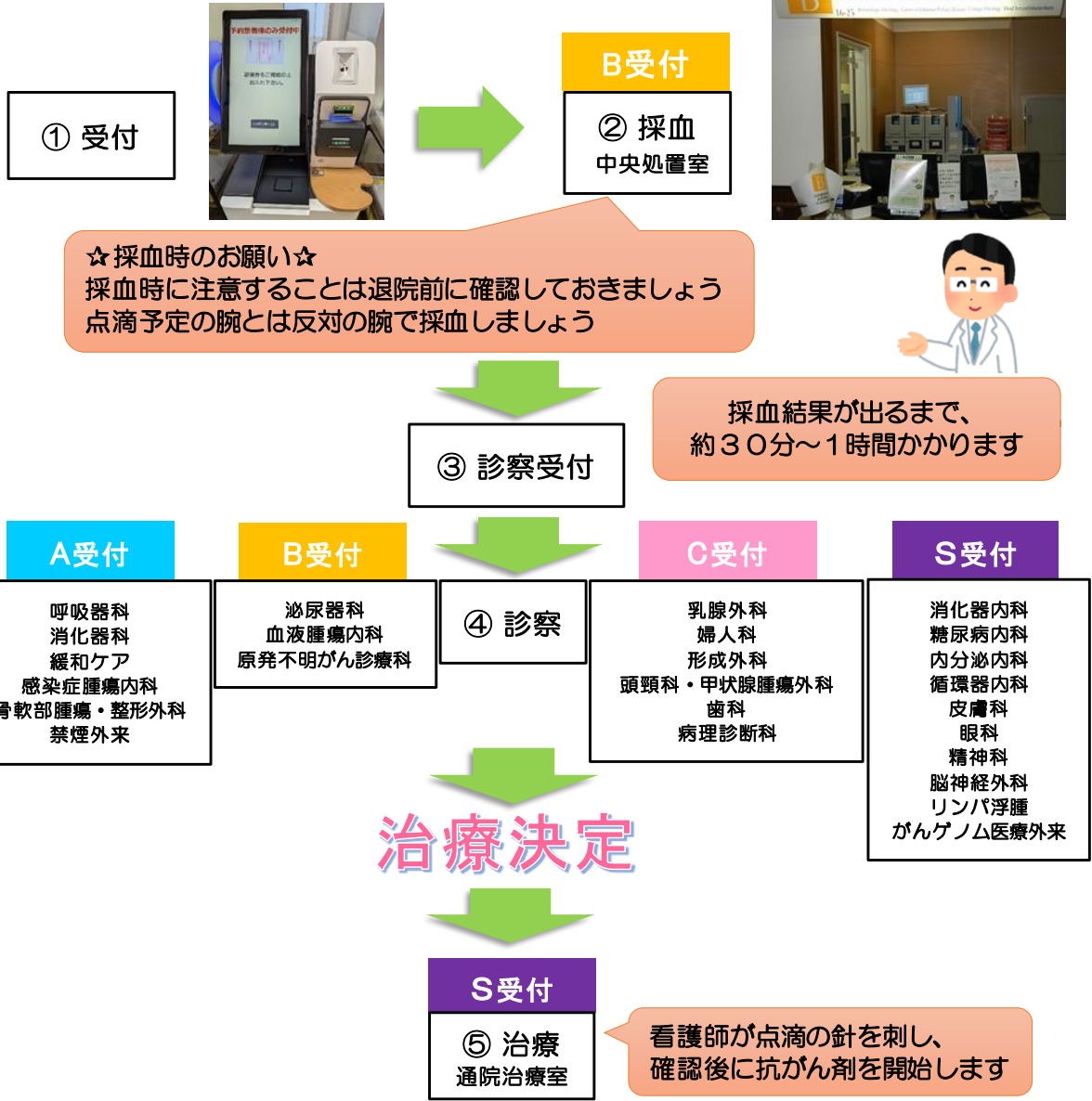
退院後も治療日誌は、毎日記入しましょう
自宅療養中に気がかりなことがありましたら、外来受診時に治療日誌を持参し、
主治医に相談しましょう

MEMO

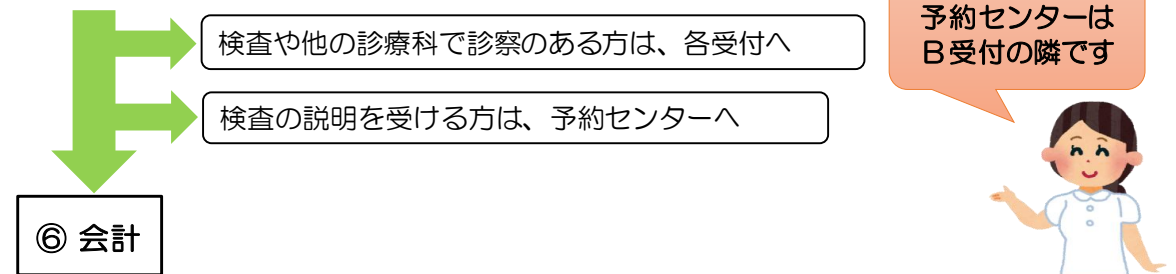
気になることや症状など書き留めておきましょう

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ



治療終了



処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。





- 37.5℃以上の発熱が続くとき
- 下痢が続くとき
- 食事がとれないほど、ひどく体調が悪いとき

2回目以降の治療のときは上記に加えて

- 針の入っているところや腕、肩、背中などが赤くなったり、腫れたり痛みがあるとき
- 抗がん剤の投与が終了する前に針が抜けてしまったとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



nal-IRI+5FU/1-LV（オニバイト）療法を受けられる方へ